

2023年度第6回定例理事会及び 第3回白井工業団地地区まちづくり協議会議事録

第6回定例理事会及び第3回白井工業団地地区まちづくり協議会を下記のとおり開催し、各議事等に係る質疑及びその経過並びに決定事項等は以下のとおりでした。

記

- 1 名 称 2023年度第6回定例理事会及び
第3回白井工業団地地区まちづくり協議会
- 2 開催日 2024年2月20日(火) 11:00～
- 3 場 所 白井市公民センター・1F会議室
- 4 出席者 出席者、欠席者
理事・監事 駒村武夫、宇津野嘉彦、尾籠和彦、藤本秀樹、栗原光弘
畠山泰哲、秋山浩輝、人見則夫、津覇賢吾、木村光夫、高橋 誠
阿部利明、伊藤邦宏、菅原 正、太田正美、佐野忠信、平川昌宏
野沢浩二、坂本龍悦、遠藤禎之、三輪 誠、奥村富央、永井雅一
山口裕矢、住友龍志、藤野邦夫、佐藤 誠、櫻井貞宏、湯浅信一郎
幹事 岩崎雄至、三田憲太郎、石橋健治、熊山武史
青年部 山口裕矢 顧問 白山良一、野水俊夫
船橋労基協・白井支部長 倉持忠勝
事務局 染谷敏夫、梅本真己子、塚原幸恵

第3回白井工業団地地区まちづくり協議会

以下1件の協議について、議事進行を駒村代表理事が務め、先ず染谷事務局長がこれまでの事前説明に関する経過と承認にあたっての条件等について説明を行い、続いて事業者から事業内容等についての説明を受けた後、協議を行った結果、以下の意見・条件を付すことで全会一致で了承した。

事業者：株式会社白井BNセンター 代表取締役 植田徹也
京葉ガスエナジーソリューション株式会社 エネルギー企画部長 加藤亮介

第1号協議 白井バイオガス発電所の建設計画の件

本計画については、以下のとおり委員会及びブロック会議において事前説明を行っており、それぞれ了承をいただいている。

なお、委員会及びブロック会議において出された意見を考慮し、以下の条件を付すこととする。

〈会議の開催状況〉

- ・1月16日(火) 渉外総務委員会
及び環境整備・交通対策委員会の合同会議 15人出席
- ・2月 9日(金) 第2・3ブロック臨時会議 20人出席

【承認の条件】

- ① 整備計画については、おおむね了解とする。ただし、今後、変更等が生じたときは、その都度、速やかに報告をし、周辺環境に重大な影響を及ぼす恐れがある場合

は、改めて当協議会にその承認を求めること。

- ② 当協議会と「白井工業団地環境保全基本協定」を締結し、これを遵守し、周辺環境に配慮した運営を行うこと。
- ③ 当協議会に入会し、会員となって地域との融和を図りながら白井工業団地の活性化及び環境保全などに共に取り組んで行くこととする。
- ④ 工事期間中の交通対策、騒音・振動等については、当協議会に事前に協議し周辺事業所等に影響がないように配慮するとともに、事故等の防止対策を徹底すること。
- ⑤ その他、課題等が生じたときは、誠意を持って対処し、共に協力して解決するものとする。

[主な意見等]

- ・臭気が心配されるが、対策は。
⇒運び込み破碎等は、建物内で行い外部に臭気が漏れないようにしている。発酵、排水処理等は、密閉したプラント内で行うため臭気を外部に排出することはない。
- ・搬入車両による交通渋滞の影響は。
⇒ほとんどが朝方から午前中としており、また契約している指定の車両のみで、一般の受入れは行わないので、影響がないよう配慮する。
- ・バイオガス発電による白井市及び工業団地への貢献などは考えているのか。
⇒要望等があれば検討する。

第6回定例理事会

5 報告事項

以下4件について、染谷事務局長から説明・報告をする。

第1号報告 2024年新春賀詞交歓会の件

本年の新春賀詞交歓会は、4年振りの開催となり、会場を千葉ニュータウン中央駅前のホテルに移して行いました。

多くの来賓及び会員の皆様の参加を得て、にぎやかな交流・懇親の場となりました。

- (1) 開催日時：2024年1月18日（木）18：00～（受付開始：17：20～）
- (2) 会場：ホテルマークワンCNT（千葉ニュータウン中央駅南側）
- (3) 参加者数：91人（来賓45人、会員・事務局46人）
- (4) 収支：収入532,000円 支出765,260円 協議会負担233,260円
- (5) その他：参加費6,000円/人

第2号報告 能登半島地震における義援金の件

義援金の支出については、理事会の承認を得ることとなっていますが、速やかに被災者に届けるため3役会議の専決をもって「災害等支援積立金」から支出しました。

については、本報告をもって、理事会の承認をいただいたものとします。

なお、義援金は、1月23日（火）に駒村代表理事と染谷事務局長で日本赤十字社千葉県支部に持参し、被災者に届けていただくこととしました。

- ・義援金の額：100,000円

第3号報告 夏祭り用提灯の件

夏祭り用提灯提供のご協力については、以下のとおり多くの会員及び地域の方々のご協力をいただきました。

すでに発注しており、3月中に納品される予定で、本年の夏祭りは鮮やかで賑わいのあるものとなることを期待します。

区 分	提供社(者)数	提供提灯数					
		合 計	赤・白	ピンク 白	黄・白	緑・白	青・白
白井工業団地 協議会	52	236	43	41	26	46	80
みどりの里づくり 協議会	24	90	14	12	21	27	16
合 計	76	326	57	53	47	73	96

第4号報告 その他の件

(1) 救急救命講習会について、定員20人ほど募集したところ40人を超える参加希望があったため、急きょ、募集を途中で締切り、43人での開催を日本赤十字社千葉県支部にお願いをし、講師の増援をいただき予定通りの日程で開催することとなった。(15社、43人(男33人、女10人))

*以上のほか、受講希望者が15人以上いることから4月下旬頃に追加の講習会を開催する予定です。

6 議 事

議長は、次の3議事について、説明を染谷事務局長に求め、染谷事務局長から説明と提案があり、直ちに、議事毎に慎重審議した結果、全員一致をもって承認可決した。

第1号議事 2024年度事業計画(案)の件

2024年度の事業計画については、基本としてこれまでの計画を踏襲するものとし、各事業の進捗状況により、その取組みの方向等を示したものとしました。

その内容は、別添「2024年度事業計画書(案)」のとおりとで、主な変更点については、次のとおりです。

(1) 本計画においては、新型コロナに関係する記載をすべて無くし、通常通りの事業を行うこととしました。

(2) これまで、10項目としていたものを9項目にし、内容を整理しました。

・「項目10. 地域との交流及び地域活動支援について」を無くし、「項目6. 交流・親睦について」及び「項目9. 関係機関との連携強化について」にそれぞれ振り分けました。

(3) 新規事業として、2024年度に白井市公民センター指定管理者に応募し、地域との一層の連携・協働を図り工業団地と融合した特徴ある管理運営を2025年度から行うことを目指します。

なお、事業項目に「10. 公共施設の管理運営(指定管理者)について」を新たに加える。

第2号議事 2024年度予算(案)の件

2024年度の収支予算については、本定例理事会に提案する予定でしたが、インボイス制度の開始により今年度の決算の方向が定まっていないため、決算の見通しがついた段階で、執行状況及び各事業の取組み内容などを考慮し編成することとします。

については、4月の定例理事会に提案することとしますので、ご了承ください。
 なお、2024年度収支予算については、主に次の変更を行う予定です。

- (1)インボイス制度の開始後の決算状況を考慮した変更をする。
- (2)積立金の分離に伴う所要の変更をする。
- (3)会員間の交流・親睦の促進とともに、地域との連携・協働を推進する経費を計上する。
- (4)防災対策用資機材等の備蓄を行うための経費を計上する。
- (5)公民センターの指定管理者に選定された場合の予算については、補正予算にて対処することとする。

第3号議事 入会承認の件

以下、3社の入会を承認する。

正会員－1

- ① 名 称：進光園緑化株式会社
- ② 代表者：代表取締役社長 平川 昌宏
- ③ 所 在：白井市根713-8（第5ブロック）
- ④ 業 種：造園土木工事業
- ⑤ 従業員数：17人

正会員－2

- ① 名 称：有限会社水谷電気設備工業
- ② 代表者：代表取締役 水谷 義一
- ③ 所 在：白井市富士5-75（第5ブロック）
- ④ 業 種：電気工事業 電子機器取扱い
- ⑤ 従業員数：5人

正会員－3

- ① 名 称：NAO司法書士法人
- ② 代表者：代表司法書士 藤田 奈緒
- ③ 所 在：白井市根132-16（第5ブロック）
- ④ 業 種：司法書士業
- ⑤ 従業員数：4人

区 分	4月1日現在	期間中の移動		2月末 (見込み)	備 考
		入会	退会		
正会員	224	8	3	229	
賛助会員	7			7	
合 計	231	8	3	236	

7 協議事項

議長は、次の3協議について、説明を染谷事務局長に求め、染谷事務局長から説明と提案があり、直ちに、議事毎に慎重審議した結果、全員一致をもって承認可決した。

第1号協議 新たな交流事業実施の件

本件については、昨年9月からアンケート調査を実施したところ主な回答は、以下のとおりでした。

- (1) 社内にあるクラブ・サークルで多いもの
 - ①野球：6社 ②ゴルフ：3社 ③フットサル、釣り、テニス：各2社
- (2) 新たな交流事業の開催についての意見

- ①した方がよい：14社 ②実施しなくてよい：10社
- ③どちらともいえない：41社
- (3) 開催を希望する新たな交流事業
 - ・スポーツ系
 - ① ボーリング：14社 ②フットサル：10社 ③バレーボール：5社
 - ・文化系
 - ① 将棋、カラオケ：各4社 ②囲碁：2社
 - ・その他
 - ① 視察研修旅行：15社 ②イベント観光ツアー：8社
- (4) 運営への参加
 - ①わからない：36社 ②できない：18社 ③一部出来る：17社
 - ④できる：1社
 - (理由)
 - ・業務多忙、人手不足、参加者がいない、プライベート優先、人数が少ないなど
- (5) 新たな交流事業への参加費の負担
 - ①一部の負担であれば可能：30社 ②可能：18社 ③不可能：16社

【新たな交流事業に関するアンケート調査の回収率】

- ・通知件数：231件
- ・回収件数：77件（回収率：23.98%）

以上の結果から、新たな交流事業については、多くの会員において強く望んでいる状況ではないように思われますが、当面、1つを選定し試行的に実施し、会員企業及びその従業員の交流を促進し当協議会の活性化につなげていきたいと考えています。

については、開催に当たって以下の点を踏まえて選別し、最も多かった「ボーリング大会」の開催について、来年度後半を目標に検討を進めることとする。

- ① 運営における負担が少ない（事務局及び参加企業）
- ② 誰でも気軽に参加できる
- ③ 過大な運営費の負担とならない
- ④ 会場が容易に確保できる
- ⑤ 天候に左右されず日程の調整がしやすい など

※なお、親善野球大会は、これまでと同様に継続して開催することとする。

第2号協議 ハザードマップ作製の件

本件については、昨年9月から実施したアンケート調査において多くの個所の情報が寄せられ、これらを別添「簡易型ハザードマップ」のとおりまとめたので、内容を精査していただいた後、成果品として各社に配布し役立てていただくこととする。

については、内容を確認していただき、訂正、修正等がある場合は、3月5日(火)までにご連絡ください。

【ハザードマップ作製に関する調査】

- ・通知件数：231件
- ・回収件数：89件（回収率：27.72%）

第3号協議 交通安全の推進の件

これまで、のぼり旗による啓発活動を行ってきましたが、より強化するため車両の側面等に啓発用マグネットシートを各社の社用車等に貼っていただき、動く広報車として

啓発を行うとともに、運転者の自己啓発を図るものとする。

(1) 交通安全用マグネットシート

20×500cm 2枚1組で100セット作成

各社に呼びかけ、希望のあった事業所にご協力をいただくこととする。

特にトラック運送などを行う事業所の協力を得て、安全な工業団地にしていくようにする。



(2) 防犯対策用マグネットシート

20×500cm 2枚1組で50セット作成

昨年末に役員の仕事所にご協力をいただき、啓発を開始しましたが、引き続き啓発活動を行っていただく。

また、協力事業所を募集し、その拡大を図ることとする。



8 当面の会議・行事等の予定

〈会議〉

3月12日(火) ブロック幹事・副幹事会議 11:00～ 公民センター・会議室

3月19日(火) 三役会議 10:00～ 公民センター・相談室

〃 第7回定例理事会 11:00～ 公民センター・会議室

3月 未定 各委員会

〈講習会〉

2月27日(火) 救命救急講習会 13:30～ 公民センター・レクホール

〈行事〉

今年度は、全て終了致しました。

9 全体を通しての主な意見

①来年度の事業計画において、公民センターの指定管理者への応募をすることとしているが、事業費はどのようになるのか。

⇒事業費は、現状の直営での施設の維持管理費、人件費、利用料等を参考に市で積算をしたものが示され、それ以内で運営することを条件に応募することとなる。

②指定管理は、公募になるのか、その範囲は。

⇒原則、公募となると思われるが、白井第二小学校区のみどりの里づくり協議会や地区社会福祉協議会とも連携をしていく予定であり、かつ、これまでの当協議会と地域との関わりなどを提案し、利点とし応募していくこととする。

③指定管理者となった際の利用方法等は。

⇒指定管理者となった際には、各事業所内のサークル活動や、地域とコラボした講習会・セミナーなど特徴を生かした運営をしていく予定です。

④会員の拡大について、工業団地以外の会員について、どのように捉えているのか。

⇒当協議会は、工業団地を基本として活動してきていましたが、これからは、工業団地を中心にしていくことは基本ですが、白井市内の経済団体としての活動や地域で活動する方々との連携を図って行くことで、より広く活発な活動の展開ができるものと考えており、積極的に入会を勧めたい。

⑤ハザードマップについては、有効に活用したい。

- ⑥冠水箇所看板を設置してほしい。
⇒これまでも市で設置をしている箇所があり、引き続き設置を要望する。
- ⑦冠水時に手前で通行止めの案内ができるようにしてはどうか。
- ⑧工業団地アクセス道路の工事が進行しており、開通が楽しみである。
- ⑨交流事業について、ボーリング大会は以前青年部で行っていたので、開催することには賛成である。
- ⑩賀詞交歓会にもっと会員の参加を願いたい。また、会費については安くしていただきたい。
- ⑪会社で借りている駐車場を利用して、行き先を間違えてしまいUターン等をする車両が多くある。注意喚起できないか。
⇒行き先を間違えてしまわないようにすることが大切であることから、現在、10カ所の案内図を更新しておりますが、4枚の増設ができるようにしているので、適地に設置をしていきたい。

以上

10 閉 会

上記の決議等を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び監事がこれに記名押印する。

2024年2月20日

一般社団法人白井工業団地協議会理事会

代表理事 駒村 武夫

監事 栗原 光弘

監事 畠山 泰哲